

まちの できごと

100歳 おめでとうございます



12月20日、舞原道さん（鶴園自治会）、が100歳を迎えられ、町、社会福祉協議会から記念品が贈呈されました。

舞原さんは明治39年生まれ。現在、長男ご夫婦と、お孫さんと生活されており、長生きの秘訣は「好き嫌いをせず、よく食べ、早寝早起きをする事。」だそうです。

これからも元気で長生きされることを祈っております。

石跳橋開通



12月20日、町道鳥淵・原沢線の石跳橋が開通し、町、議会や工事関係者、自治会の方など約40人が参加し、渡り初めが行われました。

旧石跳橋は、昭和47年に架橋されましたが、時代の流れによる交通事情の変化のため、町道拡幅工事の一環として架け替えられました。

当日は、神事が行われた後、テープカット、渡り初めが行われました。今後利便性の向上、地域経済の発展、地域づくりに大きく貢献するものと期待されます。

作文で特選受賞



第49回県児童生徒作文コンクールにおいて、宿利原中学校2年宿利原翔君が県特選を受賞しました。

作文の題名は「みごち大根山」。宿利原君の家では大根を栽培しており、干し大根作りを進んで手伝う翔君の熱い思いがよく伝わってくるほか、宿利原の美しい自然や情景が目につくよう、大変素晴らしい作文です。

作文は、宿利原中学校のホームページに掲載しており、また、『詩文集 きんこう』にも掲載される予定です。是非ご覧ください。

正月飾りを作ろう



12月23日、中央公民館で親子ものづくり教室が行われ、しめ縄づくりと門松づくりに挑戦しました。

参加者は先生の指導を受けながら一生懸命づくり、子ども達はもちろん保護者の方々も真剣に取り組み立派な正月飾りが出来上がりました。

お店で買えばなんでも簡単に手に入る時代に、手作りのよさをあらためて知るいい機会となったのではないのでしょうか。快く講師を引き受けていただいた先生方たいへんありがとうございました。

「にしきの里」 来場10万人達成



12月23日、錦江町物産館「にしきの里」の来場者数が10万人を達成し、記念セレモニーが行われました。

10万人目の来場者は鹿児島市在住の井上健郎さん、ふさ子さんご夫妻。ふさ子さんが田代出身で毎月の墓参りの際訪れているそうです。

にしきの里は昨年4月14日のオープン後8か月程で来場者10万人を達成したことになります。徳永店長は「運営は順調に進んでいる。これからも地元の生産者に生きがいをもってもらい、また、お客様にも喜ばれる店にしていきたい。」と話されました。

交通安全を願って



12月20日、山之口交差点に設置してある交通安全地蔵像の前で、交通事故犠牲者の冥福と交通安全を祈るため、交通安全協会、錦江警察署が参加して、交通安全祈願祭が行われました。

また、同日、城元の国道269号線塩屋自治会内（ケーオー横）の横断歩道に押しボタン式信号機が設置され、点灯式が行われました。設置された場所は車の往来が多く、以前死亡事故が発生した場所でもあります。横断する際は、信号機を使用し、しっかり安全確認を行いましょう。